

令和7年度

市民厚生常任委員会 行政視察報告書

1 視察日程

令和7年5月27日(火)～29日(木)

2 視察先、視察内容

- (1) 富山県富山市【5月27日(火)】
ごみのリサイクル啓発等について
プラごみの海洋流出防止の網場設置について
- (2) 石川県金沢市【5月28日(水)】
子どもの貧困対策について
- (3) B's 行善寺(石川県白山市)【5月28日(水)】
「ごっちゃプロジェクト」について
- (4) 新潟県三条市【5月29日(木)】
中心街にある空き家の荒廃を防ぐ取組状況について

3 参加者

佐藤 定・中川健二・佐藤 孝・室岡啓史

佐々木ひとみ・栗山嘉男・村川拓人

(随行者：服部真樹・池 秀和)

(1) 富山県富山市

- 1 視察日時 令和7年5月27日（火）
- 2 視察項目 ○ごみのリサイクル啓発等について
○プラごみの海洋流出防止の網場設置について

第1 視察概要

富山市では、ごみのリサイクル啓発として行われているR3(リデュース、リユース、リサイクル)の推進、SNS等の情報発信、ワークショップなどの啓発活動、資源物ゴミステーションの設置などを展開していること、また、プラごみの海洋流出について、オイルフェンスを設置し調査分析を行っていることから、海に囲まれている佐渡市にとってどのように活かせるか視察した。

第2 視察後の所見

富山市は自然の多いクリーンなイメージがあるが、その裏にはゴミの減量化の取組で様々な工夫があった。

まずはゴミの組成調査をして、減量方法の試行錯誤でゴミ処理経費の削減に成功している。その他にも燃やせないゴミの分別ステーションで、シルバー人材による資源物リサイクルに取り組んだり、海洋ごみの出所調査で80%が陸からのごみであったことで、オイルフェンスを使って川でのゴミ回収を進めている。

その他に、ゴミの減量化は環境教育が大切だと、様々な環境教育に取り組んでいた。出前講座、啓発イベント、YouTubeでの減量啓発動画配信等は努力次第で佐渡市でもできるのではないかと感じた。



机上研修



机上研修



机上研修



集合写真

(2) 石川県金沢市

- 1 視察日時 令和7年5月28日（水）
- 2 視察項目 子どもの貧困対策について

第1 視察概要

金沢市では、子どもの貧困対策において、官民連携を密にし、学校・子どもの居場所としての子ども食堂・学習支援、訪問による状況把握、子ども相談センターなど三層構造となっており、数多い NPO などの民間団体も活発に活動している見守り支援体制について視察した。

第2 視察後の所見

オーバーツーリズムの町は市民も裕福なので、子どもの貧困があるのかが疑問だったが、人が増えればひとり親家庭もまた増えることになる。今の日本の制度ではそこに子どもの貧困が生まれてしまう。

子ども食堂等を利用した重層的な子供見守り支援体制をとることにより、子供の貧困が早期発見できることを目指している。子ども食堂が市民のボランティアから始まって全ての小学校区にある。事業者への支援はわずかだが、地域の皆さんのボランティア精神に助けられているようだ。子どもを大切にする市民の意識の高さは佐渡の人も負けなと思う。今の人口減少を食い止めるためにも大切な考え方で見習って行きたいと感じた。



机上研修



机上研修



机上研修



集合写真

(3) B's 行善寺（石川県白山市）

- 1 視察日時 令和7年5月28日（水）
- 2 視察項目 「ごっちゃんプロジェクト」について

第1 視察概要

B's 佛子園は、障害の有無や年齢に関係なく多様な人たちがごちゃまぜで交流することで、誰もが役割を持ち元気になり街が活気づくような地域共生社会作りを目指しており佐渡市にどう役立てられるか視察した。

第2 視察後の所見

B's 佛子園は障害者グループホーム、高齢者住宅、学生住宅等地域・多世代交流を支援する取組を実施している。自分たちの地域のことを自分たちで考え解決していく取組や、生涯にわたる学習活動や社会的活動への機会の提供、健康づくりや介護予防、生活支援ボランティアの養成など様々な事業を通じて、多世代が地域で元気に暮らし続けることができる街づくりを進める。

その根底には「ごちゃまぜ」にすることにより違う物の相乗効果が生まれて対応力が広がるという考え方がある。

人口減少が著しい佐渡でも必要な考え方だと感じた。



机上研修



机上研修



集合写真

(4) 新潟県三条市

- 1 視察日時 令和7年5月29日（木）
- 2 視察項目 中心街にある空き家の荒廃を防ぐ取組状況について

第1 視察概要

三条市では、中心街にある空き家の荒廃を防ぐ取組の一環で、特命空き家仕事人や地域おこし協力隊などの外部人材を配置し、空き家の啓発イベント、相談窓口、空き家状況の把握に力を入れて対策を行っている。同様の問題を抱える佐渡市としてどう活かせるか視察した。

第2 視察後の所見

環境課の所管であるが国の「地域活性化企業人」事業を利用して外部人材を起用している。非営利法人を立ち上げて仲間を増やしての空家対策には非常に活力が感じられた。外部人材の自由な発想で空き家相談窓口、空き家セミナー、空き家マップ等様々な事業を行っている。行政では制約を受ける部分を、取払うことができたことが功を奏している。民間活力を取り入れることは大いに見習うべきで、核になる人から仲間を増やして法人を立ち上げる手法は、佐渡市でも取組を模索すべきだと感じた。



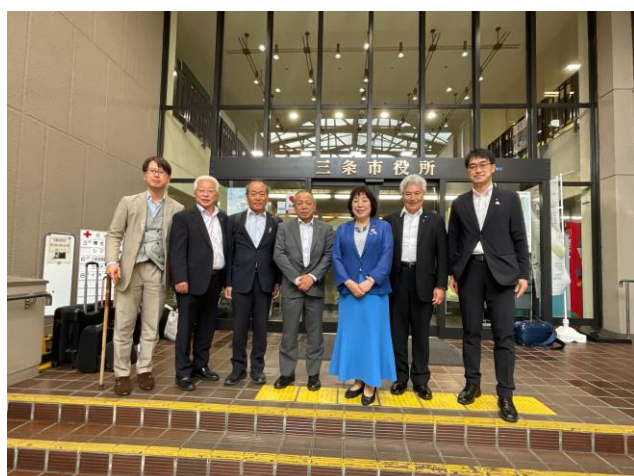
机上研修



机上研修



机上研修



集合写真